日刊
磐城日日
發行所 株式會社 磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話 219番
振替口座仙台 31355番
編集人 高瀬霞
印刷發行人 長瀬芳郎

町民の熱意を披歴し 立花委員長大演説

名古屋港灣協會 來會者も感動

小名浜港修築問題

【既報】小名浜町では二十六年度漁港修築費獲得運動の為名古屋市で開催する港灣協會に立花港灣對策委員長、長瀬助役・小泉主事・小野縣議、菅原議長外町議二十名並に漁業會を代表して野崎貞行氏一行が十日午後一時平發の準急で出發十一日午前十時から名古屋市松坂屋七階の大講堂に出席したが、會議の模様を歸町した金澤町議は次の如く語つた

立花委員長

先ず全國港灣協會々長松本學工學博士の開辭に始まり各地よりの議題百二十七件提出後立花對策委員長立つてわが小名浜港は人造港で未完成のため港内に停泊中の漁船も一度時化に遭遇すると遠く宮城縣塩釜港やお隣りの石巻、女川港に避難せねばならぬ危險な狀態である運命はかかつて國家の豫算關係にあり大幅に予算削減のおそれがあるので内防波堤の一部並に漁船の船溜り丈は是非二十六年度の豫算獲得の爲權威ある港灣協會の力を籍り小名浜二万七千町民の熱意を主務省に披歴して之れが達成を望んで居る次第であり、其の成否如何は全町民が注目している、これがため小名濱町議並に關係者總動員によつて今度の大會に臨んでゐるのであるから其の熱意を買つて貰いたいと堂々たる大演説をなし來会者千二百余名に多大の感銘を與えた

尚翌十二日は三隻に分乘し自然の要港名古屋港、伊勢灣を視察し四日市で解散の上歸町したが立花委員長の名演説と共に大擧して猛運動した効果は必ずや顯われると思う云々

財政問題を討議

湯本町鑛產税を重視

去る十月十二日午后一時半より湯本町役場内會議室にて町協議會が開催された、出席者は松本町長、小野町會議長を始め町議二十名で湯本町財政問題に關し審議を行い、細目の点については、鑛產税、固定資產税等をめぐり白熱的論議をなされたが決論に到達せず、要は平衡交付金と鑛產税が問題であり就中鑛產税が町財政の死活を決すると町長より説明し縣と共に再評價することになつた

參觀と見学

昨十六日平市第五小學校のPTA（會長山崎朋勝氏）では幹事伊藤先生引率のもとに約五十名が小名浜第一小學校の授業を參觀したが當日は全校父兄の參觀日のため多数の父兄も來校していたので應接室に於てPTAの運營につき種々懇談をした

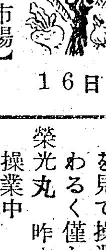
なお一行は終了後、日本水素工業株式會社工場、小名浜測候所を見学した

珍競技續出して盛況

町村吏員運動會

十五日小名浜第一小學校々庭に於て開催された石城地方町村会並に縣市町村健康保險組合主催の石城町村吏員親善体育大會は好天にめぐまれ約五百名の各町村吏員出場午前九時より開始された

競技開始に先立ち優良吏員表彰式が行われ町村長會長鈴木榮一氏より受賞者代表小名濱町主事村上保一郎氏に賞狀及賞品を授與された次いで石城地方町村長會長鈴木榮一氏全副會長高木武一郎氏、小名濱町長代理野崎昇太郎氏、石城地方事務所長箱崎利勝氏の祝辭があり九時半より競技は展開された、二百種目の競技の中に珍競技續出二千余の觀衆をして抱腹絶倒させた場面も度度現出する有様にて和氣靄々のうちに競技を終了、箱崎地方事務所長の發声で萬歳三唱して大會の幕をとじたが本社では此の日、特集版を發行して壯行を祝した



16日

【小名濱青果市場】出廻り少なく人氣よし

高級リンゴ	三九〇—八五〇
馬鈴薯	四五—六三
ねぎ	二五—四〇
長大根	一三—二〇
丸大根	一七—二一
へらな	一五—一八
人参	八五—一三〇
ごぼう	八〇—八五
なす	三五—四〇
さつま	三六—四〇
白菜	二一—二六

【小名浜魚市場】

さんま	一二〇—一五〇
さば	一〇〇
かつを	三七〇—三五〇
たこ	七〇
いか	三〇〇
はも	二〇〇

サンマ漁業速報

天神丸 その後おかづだけ
第二大定丸 濃厚な群を見て操業するも付わるく僅か二かご
榮光丸 昨夜皆無目下操業中
千代丸 風浪高く北よりに鮫港向け續航中
明神丸 一時より石巻向け歸港中漁百〆
眞盛丸 昨夜の漁十五〆
八崎丸 その後群なし
勇丸 二十一時久慈沖SE五〇群なし
三王丸 その後群なし
天神丸 小群二、三操業するもおかづだけ
旭日丸 北よりに調査中

随想

K子さんへ（下）

小浜常司

そして又、現実としては、その夢はつぎからつぎと崩されてはいるけれど、然し僕たちの教育が人間性にねざす本質を見失わない努力を續けるならば必ず實現しうるものなのだ。にもかかわらず僕は、教育はやはりこの混沌の現實から出發しなければならないと思つている。教育が現實のこどもや社會を對象とするかぎり現實から遊離した教育はなりたたない。だから封建道徳が一擧にして崩壞し、しかも新しい世代のモラルはまだ確立していない現在の荒廢を一應は肯定しなければならないと思うのだ。そしてこの人間的汚濁と憂愁の底から、新しい人間教育の足場をつくつていかなければならないと思うのだ。『足は大地をふみしめて、目は蒼空の高きにそそげ。』という級訓は、そのまま今の教育の現實にもあてはまる。

今こうやつて書いている學校の玄関口から土足のままでかけあがつて廊下を疾走していく四、五人のこどもたちがいる。窓をあけて注意をすると、いささかも悪びれず平然として校庭にかけおりていつた。これが現實なのだ。そして、これを强制によつてさせなくすることは全く簡單なことなのだ。然し、公民性といい公德心といい日常生活のしつけというものは、何が故にそうしなければならないかという理解と思考と判斷が、善悪に伴う感覺に結びついて習慣化されなければひとりひとりの身にはつかないのだ。ここに社會的なモラルとのつながりがある。こどもがそれを本質的に罪惡として感じないかぎり、結局はいつになつても、手をかえ品をかえて行われるにきまつている。僕たちの教育の理想がすこしでも前進して、こどもたちに良識と愛情が芽生えて來たら、今の社會をさわがせているこどもの不良化とか犯罪とかも、自分の心からと周圍の空氣からと、必ず減つてくると確信しているのだが甘いだろうか。この上ずつている進歩性と沈潜している封建性に浸透して、人間の教育を回復するための努力が、こどもの教育と平行して行われることが、此の時代の教育者の負つている大きな光榮ある任務だと僕は思うのだ「やんぬるかな。」という表情でいてはいけない。大きな理想からいえば、むだ足であり、より道と見えることもそれが現實であるかぎり、先ずそこからかからなければならない。こどものきそ能力にしてもそうだし、こどもの心がそこまで成長してなくても、今現実にマイナスの行為をしようとしていることもなら、叱責してもやめさせなければならないと僕は思つているのだ。

K子さん。あなたは今、教員生活に訣別して新しい人生のスタートを切ろうとしている。やがていくばくかの家庭修業の後結婚への軌道に乘る事になろう。どうか大いなるローマンに胸とどろかして、精神的に多彩絢爛たる家庭を現實生活の上に築きあげていかれるよう期待してやまない。

古來教員上りは嫁にもらわれないといわれた。どうも手を動かさないで、さしずばかりしたがるというのだ。これこそ封建教育の生きた事実なのだ。こどもたちを枠の中に入れる爲に行われた詰めこみと服從の形式主義がいつかしら教員の身についてしまつた悲しい實態だつたのだ。然し今はちがう。あなたは新教育の本質から眞のこどもに對する愛情をくみとつた。人間を人間らしく育てるための本當の道はどこにあるかを体驗を通して學びとつた。こどもはそのこどもだけを見ていたのでは判らないことも一人でいるこどもと集團でいることどもの違うことも、こどもはだれの恣意によつても動かすべきでないことも、こどもが、自分にくらべて自分の成長をはかることの正しいこともあなたはその目でしつかりたしかめ得たのだあなたが數年間こどもの中にとびこんで、こどもとこどものかかわりの中にそそぎこんで來た愛情の、磨かれた純粋さというものは必ずあなたの家庭で生きてくるに違いない。あなたが妻となり、母となつた時の、その夫その子の幸福を思う時僕はひとごとならず嬉しいのだ。そして、教育が教員の獨占物でなく家庭も社會も、社会構成の一員としての教育的責任をもつ現在、あなた方のような人が、數多く家庭に入り社會に出て、教育のための本當の道をきりひらいてくれることは、僕らにとつて此の上もない期待なのだ。あなたの先生として得た知性と教養と、体驗と愛情を何よりも大事にしてほしい。そして、その純粋さを失うことなく世路の艱難に向かつてほしい。そうすることによつてのみ、あなたの失われた青春は、燦然として、あなたの未來に輝くであろう。混迷と泥濘に幻惑されて、人間の本質を見失つてはいけない。荊棘いかに繁くとも、あなたの持つ純粋な情熱とローマンを盡くるなく燃やさしめよ。光は未來に輝いているのだから。では多幸な出發であるように祈つている。

社告

常に嚴正中庸を守り、堂々の論陣を張つて新時代の旋風を捲き起す『磐城日日』

モラルとヒューマニズムを具現した郷土名士の所説や寄稿を掲載して地方文化の進路を示す『磐城日日』

民衆の眼となり口となつてあらゆる邪悪を暴露し正義と民主々義を標榜する『磐城日日』

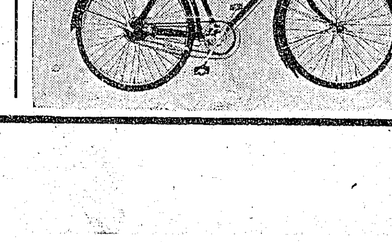
新聞の品格と權威を保持するためにプレスコードを嚴守し飽迄ローカルカラーを發揮して地方新聞に異彩を放つ『磐城日日』

郷土の新聞世論の先驅『磐城日日』の購讀希望者は直接本社へ御申込下さい

磐城日日新聞社

皆様の自轉車は
宮田のギヤエム號
共榮のさくら日本號
東亞のウインドミル號
大衆的サービスの店
御來店下されば御相談に應じます

代理店
湯本町上町
熊田輪店
電話一四三番



女子從業員募集
高女卒以上 希望者は履歴書持參御來社下さい
小名濱町水素東隣り
株式会社 長瀬印刷所

容器の検査を實施
鮮魚介類行商人を拔打

鮮魚介行商用容器検査について左記日程要領により販賣容器の検査を實施する旨平保健所より通達があつたので當日検査不合格のものは追つて平保健所で行うにつき不合格なきよう小名浜町分室より注意を喚起している

要領

1 各役場衛生係は各関係業者、漁業會、魚市場水産煉製品組合、魚介類販賣組合長と連絡の上集会時間を定め当所に連絡を願いたい

2 雨天の場合は他町村終了後追つて検査を通知する

3 回覧其の他適当な方法で左記検査場所日時を行商人に周知せられたい

日程

十月二十三日 四倉(草野、大野、大野を含む) 四倉魚市場前
二十四日 平(好間)高久、赤井、小川、川前、箕輪、澤渡、夏井) 平丸公市場前
二十五日 内郷 役場前
二十六日 湯本(磐崎、渡邊) 湯本役場前
二十七日 植田(錦、山田、田人、入遠野) 植田市場前
二十八日 勿來(川部) 勿來役場前
三十日小名濱(泉、鹿島) 魚市場前
三十一日 江名(豊間) 江名魚市場前

尚平保健所にては獣醫の係官二名を小名浜に駐在させ随時拔打的な検査を行うとの事である

常磐礦電力不足(十月分)

常磐炭礦の十月分電力割当は千六百七十二万キロときまつたが、實際の使用量は二千キロなので三百卅キロ不足する事になる。一千五百万圓が電力のために超過支出になると言つている。

小林課長談

「夜間のラジオ、炊事をするための電氣はなんとか送り度いが割当が不足なので坑内の仕事にも影響するから、いましばらく辛抱してもらいたい」

木村参議員有志と上京

木村参議院議員は木村後援會有志青年團員八十名を引率し宮城の清掃と國会議事堂見学の目的で十三日準急で上京したが日程は一泊二日の豫定である

列車の早發を陳情
通勤と通學が連日遲刻

去る十一日よりダイヤの改正を見てから二二二列車は毎日五分内至二十分位連日に亘り遲延しているが之れが原因は上り急行列車が遅れて來るので待避するためである二二二列車は通學及び通勤列車であるのに連日の遅延で通学生徒達が遅刻するのは教育上、由々しき問題なので左記連名のもとに十五日附早発運轉を當局へ陳情した

四倉町役場並に町會議員一同
久之浜町役場並に町會議員一同
廣野町役場並に町會議員一同
大野村役場並に村會議員一同
大浦村役場並に村會議員一同
草野村役場並に村會議員一同
大久村役場並に村會議員一同
木戸村役場並に村會議員一同
龍田村役場並に村會議員一同
四倉町學生連合会
久之濱町學生連合會
廣野町學生連合會
大野村學生連合會
大浦村學生連合會
草野村学生連合会
大久村學生連合会
木戸村学生連合会
龍田村学生連合會
通學生徒父兄一同
草野駅富岡駅間通勤者一同

右に関し門脇四倉駅長は次のように語つた

門脇四倉駅長談

通學生が遅刻すると云う事は承知してゐます、教育上の由々しき問題ですから、ゆるがせには出來ません、当駅としても何とかして貰えぬかと相談されて居ますので側面的に協力したいと思つてゐます

盗難事件が續發
一夜に二カ所侵入

小名濱町定西一三番地雜貨商高木隆義氏方で十五日午後九時半ガラス瓶の容器に入れてあつた、ひかり五十個(價格二千圓相當)が紛失しているのを發見町署に届出た

警察署では頻々として起る盗難事件に對し一般町民も戸締りを嚴重にして犯罪を未然に防止するよう協力を要望している

小名浜町字林の上石井信太郎さん方では十五日の午後十一時頃より十六日の午前三時迄の間に賊が侵入、家中を荒し廻り洋服の上衣一着、ワイシャツ、菓子うどん等六千圓相当のものを窃取され町署に届けた

天氣豫報

【今日】は南、北西の風曇りで小雨があり後回復し晴れて來ませう
【海上】は本日南、明日に北西の風波立ちますから漁船は注意を要しませう

藝術と人生
鳩の巣 如鳩

そこで私は今、藝術が人生の血液であると云つた事に付いて一言して見たい。

先づ口より攝取された食物は胃腸内で消化せられ、吸收され、血管内に這入つて血液となり、全身を廻る、此の血液によつて身体の各部の成長と創造とが營まれる。それと同樣藝術も外部より攝取した凡ての美の榮養素を人生の全体各部に向つて送達し之れが成長と創造との重要なる役を務めて居る。

また血液が疾病、傷害等の有る場合、そこに急行して其の防禦に當る如く、藝術も亦人生の疾病傷害であるところの疲労、煩悩、憂鬱其他に對し慰安と平癒とを與える役目を持つて居るのである。

今より十年前私は東京中野にあつた結核療養所に收容されて居た友人のために、一枚の油畫を描えて見舞つた。すると友人は朝夕これを眺め非常に悦んで居たが。それからと云うもの彼の病状は日増しに良好になつて行くと云うので、これに氣付いた院長の依頼によつて各部屋に一枚づつの畫を懸けることになつた。すると或日異變が起つた、それは二十一室の女の患者が行方不明となつた事件である

しかしこれは畫に関係もなく、また私にその責任が有るわけでもないので安心して居ると或日のこと、その女の患者が私の家にやつて來た、そして「私は院長から退院してもよいと云はれて居たが不安でもあり、また歸宅しても家族の者から肺病扱いされるのがいやであれまで退院せずに居た、ところが先日頂いた畫を眺めて居るうち自分に清淨な氣持ちが起り、自分が今迄意氣地が無かつた事に氣がついて見ると、矢も楯も無く飛び出してしまつた」と云う。そこで私は家人に良く話をつけて、完全に退院させた。其の後家人がやつて來て、先生の繪が來てから家中が何んとなく明るくなり病人も床上げしたので快氣祝をしたいからと云うので迎えに來た。行つて見ると繪は立派な額にはめ込まれて私の描いたものの様ではなかつた。そこで此の繪の説明をして置かねばならない画題は「湖水の朝」で富士山は見えて居なかつた。此の平凡な画が何故にそれ程まで彼等の人生に染み入つて感動を與えたかを尋ねて見ると。それは「靜かな湖面、眠るが如き對岸の山々、それに灰色に烟る薄雲が私たちの今までの人生に反省と靜穏とを取り戻して呉れた」と云うのである。

こうした例は澤山ある今彼の病人には健康人の経験し得ない心情があり、ただの理性だけでは治まらぬものがあつたところに、一枚の風景画が懸けられた、これに見入つて居るうち彼女に藝術的共通感が起り、彼女には作家が芦の湖畔で寫生して居た時受けた感銘と同一境地点にまで辿り付くことが出來たのであろう。

彼女は一枚の油繪に依つて病氣を忘れ、病室を飛び出し、心仙境に遊んで平靜なる自己を發見する事が出來た。此の場合の妙機はよくあることで、昔イギリスで或町に動亂が起つた時、一枚の大きな油繪がこれを治めるのに最善の妙機となつたと云うのと同じである。そこで人生から藝術を見た場合は、作讃する者も、觀讃する者も觀賞することに於ては同一の境地に到達することが出來ると云うことになる。それ故に自分が描いても、造つても筆を洗い、刀を擱いた時は、すでに觀賞の位置に立つて居るものである。

庭造り且那も 人夫も一つ縁

その意味で私は此の世の中に善き藝術を殘すための忠實な人夫の一人であろうことを念願として居る。そしてどんな人生感を持つて居るのかと尋ねられたら。

繪筆もつ、身に貧賤の苦労なし 山川草木、皆我のもの

理屈ばかり云つてるうちは畫は描けぬもので自己執着のある間は色が濁り。邪心の有る時は神佛を描く事が出來ない、また食欲盛んなる時は失敗しやすく、金錢に執着する時は下品となる。繪を描く時位謹愼を必要とすることはあるまいと思う。故に凡てその藝術家は心身ともに清廉にして潔白なるが肝心であるなぜなれば常に對衆として見詰めて居るものは美の本体であるからである。

「先づ神の國と其の義とを求めよ然らば凡てのもの汝等に加はるべし」キリスト

此の言葉はルドンも藝術論のうちに引用して居る、これを改譯して見ると

「先づ美の極土と其の正しきとを求めよさらば凡ての事汝等に加へらるべし」

となるのである。故に藝術は決して單なる技法でもなく仕事でもない。細かい心のブラシで深い神の美を探りあてて、これを画布の上に積み上げる神秘な業なのである。今私は三人で大觀音像を弟子と伜と自分の筆で製作して居るが自分が描くとは思つた事がない。大いなる力に引きづられて自然に筆が然るべき所に運ばれ、自分自身はその繪の具を筆で運ぶ聖なる人夫に過ぎない事を自覺して居る

筆運ぶその時ごとに思ふかな見えざる力我を引き行く

私如き者ですら佛像を描く時に、そうした感境を得て居るものとすれば昔の作家は如何ばかり聖なる境地に居て作製せられたものかと敬服の外は無いのである。

法華経の中にも

「佛像を造らせる者、作るもの、描く者、華、香、を献げ拜する者、等皆に佛道を成ず」

とありますが、先づ藝術と人生とはかくの如く神秘の関係を以て今も何時も世々に人生の有る所そこに馨はしき香りを放つて華咲くであろう

おわり

あせつても四十、五十から下り坂
疲勞回復、早老防止にとても効く强壯薬あり
御相談下さい
體質に合つた排虫率のよい各種虫下し 是非一度お試下さい
新薬 注射薬 榮養剤
長生堂薬局
小名浜町中島通り 電話三七〇番

塗料専門
建築・機械・自動車
船底・家具・各種塗料
繪具・附屬品販賣
株式會社 ダイヤ塗料商會
平市南町六七(平和通) 電話平九八六(呼出)

江戸前壽し 割烹 仕出し 一平
お座敷女中及下働き數名求む
—年令十八才より二十五才迄の方—
小名浜町下町 電話451番

大洋電機株式會社 代理店
小濱電機工業所
小浜敬太郎
電話一五九番